

かんライン

びんライン

ペットボトルライン

クリーンセンター寺久



集積所に出された資源ごみはさしまクリーンセンター寺久に運ばれ、それぞれの置き場に降ろします。

【追跡】



資源ごみの行方 ～ リサイクルへの道 ～



磁石の力を使ってアルミ缶とスチール缶に分別します。



自動色選別という機械を使って、白・茶・その他の色に分けられます。



缶・びん・ペットボトルは作業員の手選別により不適物がないかチェックします。



プレス機を使って圧縮、梱包します。



運搬しやすいようにプレスされ、各再資源業者に引き渡しリサイクルされます。



さしまクリーンセンター寺久には年間約2,600tの資源ごみが搬入され、その内、約77%にあたる2,000t(令和2年度実績)を資源化物として再資源化業者へ引き渡し、リサイクルしております。今回はさしまクリーンセンター寺久に搬入される資源ごみの処理の過程の追跡内容をご紹介します。

仕分けした後はそれぞれ再資源化に向けて搬出します。

新たなリサイクルの取り組み



資源リサイクル課 課長 青木 一哉

さしまクリーンセンター寺久では、かんやびんなどの資源ごみだけでなく、粗大ごみや不燃ごみからも可能な限り資源物を回収しています。

粗大ごみからは主に羽毛布団や自転車、不燃ごみからは金属類・アルミ類・小型電子家電等を回収し、再資源化業者へ引渡しています。

粗大ごみから回収した修理が可能な自転車は、クリーンセンター寺久内で修理を行い、年に2回ほど行われる「リサイクル自転車販売会」で販売しております。



ペットボトル品質検査

さしまクリーンセンター寺久に搬入されたペットボトルは、日本容器包装リサイクル協会の指定業者に引き渡されリサイクルされています。

令和3年度に行われた日本容器包装リサイクル協会での品質検査におきまして、厳しい品質基準をすべてクリアし、減点なしの県内最高品質評価となる A 評価を獲得することができました。

県内最高品質の A 評価獲得

Q. Aランク評価だとどうなるの？
→A. 原材料と同等の品質に何度も戻すことができる理想的なリサイクル原料になります。最近では、ペットボトルを繰り返しペットボトルとして再利用する「ボトル to ボトル」という新たなリサイクル方法が主流となりつつあります。今後ともペットボトルの分別にご協力ください。

